

将来のわたしのために今できること

宇土東小学校 五年

濱口 紬珠

「わたしは、二の手を使って、たくさん勉強して、美容になります。」

五年の四月、わたしは、このようなちかいをいそいでました。そこで、どんな勉強をしていくのか考えました。国語や算数のように勉強・自分の心が成長していくための勉強とらには、友達とのかかわりを学んでいく勉強

勉強と言っても、様々な勉強があることに気づきました。同時に、美容になるには、どの勉強も同じくらい大切だと思います。

わたしは、今回、自分の心の成長と友達とのかかわりについて、発表します。

五年生の六月、集団宿泊体験がありました。そこで、三つのことを学びました。

一つ目は、集団の一員として、けじめのある行動をし、協力し合えるようになることです。けじめのある行動とは何か。自分で考え

て出した答えが、自分で決めたことは、やり
とける」ということです。まちがえたら、ど
うしようと思っ、てやらないより、自分で考え
たことをし、かりやりとける方が、けいめの
ある行動に近づけると思っています。あたしの班
のリーダーは、オリエンテーリングでみんな
が迷っている時に「こっちにしよう」と言っ
たり、ニュースポーツの作戦を立てるときに
「こういう作戦でいこう」とアドバイスをし
たりしていました。わたしも、リーダーのよ

うに、自分で考え、はんだんし、きちんと言
えるようになりたいと思いました。

二つ目は、相ごの理解を深め、学年や学級
の結束力を高めることです。結束力とは、一
つの目標に向かって、みんながまとまり力
を合わせて達成することだと思います。学年
全体の結束というとい、こうなことがありまし
た。集団宿泊の二日、休み時間に何人かが
「なべなべそこぬけ」をしていました。する
とだんだんとその輪が広がり、だれかが「み

んなでしない？」とかけ声をかけたことには
 って、五年全員の輪ができ上がった。も
 ちろん先生も加わって。わたしは、成功する
 のは無理だろうな」と心の中で思っていた。
 たが、先生が大きく広げた手の下を次々とす
 りぬけていく様子を目にして、「これはいける
 ぞ」という思いになりました。全員が見事に
 うらがえり、体育館いっぱいになった五年
 生の輪を見たとき、これまでに味わったこと
 のないような達成感がこみ上げてきました。

三つ目は、自ら考え判断し、勇気を持って
 行動することです。自分の考えをもち、それ
 をきちんと伝えることは、かんたんなようで
 実は、むずかしい面もあります。集団宿泊の
 生活のしかたでも、自分では、この方がいい
 と思っ、ていても、相手の考えと、しようにつ
 してしまふこともありました。そんな時、相
 手の気持ちを想像し、自分とのちがいをみと
 めて、理かいることが大切だと思ひました。
 その上で、自分の気持ちを伝え、相手に

にも伝わりやすくなります。また、思っているだけではため、勇気を持って一歩踏み出すことも大切だと思いました。苦しいこともありましたが、退所式の代表あいさつで、自分の考えを発表できたとき、うれしい気持ちがかこみ上げてきました。勇気をもってふみ出すことは、二わいときもあります。でも、そんなとき、家族のささえや友達の笑顔がわたしの力になります。

集団宿泊を通して学んだことは、これからわたしのゆめに向かって進んでいく大きな力となることでしょう。そこでしかえられなかった経験が、自分の心の成長となり、友達とのきずなを深めることになったのは、あたしの心の中、今もかがやいています。